

令和6 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科(昼間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	言語発達障害Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 月曜2,3限	教室名	4校舎301
担 当 教 員	矢部洋子	実務経験と その関連資格	和歌山県、兵庫県の病院にて、耳鼻咽喉科、小児科発達外来、リハビリテーション科 などで聴覚障害、言語発達障害、失語・高次脳機能障害等の言語聴覚療法に従事			
《授業科目における学習内容》						
言語発達に関連する知的障害および発達障害について理解を深める						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験の得点が60%以上をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
医学書院「言語発達障害学 第3版」						
《授業外における学習方法》						
授業内容に該当するテキストを読み、理解を深めること。						
《履修に当たっての留意点》						
各障害ごとに小テストを実施します。発達障害を理解し、発達障害の子どものようにすをイメージできるようになりましょう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	言語発達障害に関する発達障害の概要を理解し説明できる	PC,プロジェク ター、 配布資料、テキ スト	該当するテキストを讀ん でおくこと	
		各コマに おける 授業予定	知的障害、ASD, LD, SLI, ADHDの5つの障害特徴を概観 する			
第2回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	知的障害の定義、原因などについて理解し説明できる	PC,プロジェク ター、 配布資料、テキ スト	該当するテキストを讀ん でおくこと	
		各コマに おける 授業予定	DSM-V、ICD10における知的障害の分類、原因疾患			
第3回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	知的障害における言語・コミュニケーションの特徴を理解し説 明できる	PC,プロジェク ター、 配布資料、テキ スト	該当するテキストを讀ん でおくこと	
		各コマに おける 授業予定	発達全体、認知領域、言語領域、音韻領域それぞれの発達特 徴について ダウン症、ウィリアムズ症候群など知的障害児者の動画視聴			
第4回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	知的障害の評価と支援を理解し説明できる	PC,プロジェク ター、 配布資料、テキ スト	該当するテキストを讀ん でおくこと	
		各コマに おける 授業予定	発達評価、知能評価、言語評価の概要、LCスケールの詳細説 明 指導について			
第5回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	知的障害についてこれまでの授業を振り返り、総合的な知識を 身につける	PC,プロジェク ター、 配布資料、テキ スト	1回～4回の復習	
		各コマに おける 授業予定	これまでの振り返り、小テスト実施			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	ASDの定義、原因などについて理解し説明できる	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読むしておくこと
		各コマにおける授業予定	DSM-V、ICD10における知的障害の定義と分類、原因疾患、関連する障害について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	ASDの理論的背景や他疾患との関連についてを理解し説明できる	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読むしておくこと
		各コマにおける授業予定	ASDを説明する認知理論、合併症、他の障害との関連について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	ASDにおけるコミュニケーションの特徴を理解し説明できる(1)	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読むしておくこと
		各コマにおける授業予定	ASDの事例の特徴分析を行い、グループ内で共有する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	ASDにおけるコミュニケーションの特徴を理解し説明できる(2)	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読むしておくこと
		各コマにおける授業予定	前回の内容についてグループ発表を行う		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	ASDの評価方法について理解し説明できる	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読むしておくこと
		各コマにおける授業予定	CARS, PEP, ADOS, M-CHATなどの概要について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	ASDの支援アプローチ法について理解し説明できる	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読むしておくこと
		各コマにおける授業予定	発達理論、応用行動分析理論に基づくアプローチ方法について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	TEACCHプログラムを通してASD児の特徴と支援アプローチについて理解を深める	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読むしておくこと
		各コマにおける授業予定	DVD『教師のためのTEACCHプログラム～米国・ノースカロライナ州にみる自閉症治療教育』の視聴		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	ASD児の事例について、TEACCHプログラムに則したアプローチ法を選択し、具体的な指導法を考えることができる	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読むしておくこと
		各コマにおける授業予定	事例紹介、グループで指導方法を考案、グループ発表		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	ASDについてこれまでの授業を振り返り、総合的な知識を身につける	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	6回～13回の復習
		各コマにおける授業予定	ASDについて振り返り、小テスト実施		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	LDの定義、原因を理解し説明できる	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読むしておくこと
		各コマにおける授業予定	医学的定義と教育的定義の違い、原因、出現頻度などについて		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標 LDの使用言語による特徴、読み書きの症状について理解し説明できる	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読む しておくこと
	各コマにおける授業予定	日本語と英語の特徴、LDの背景となる認知機能について		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標 LDの評価について理解し説明できる	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読む しておくこと
	各コマにおける授業予定	DTVP, ROCFT, STRAW-R, LCSAなど		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標 LDの支援について理解し説明できる	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読む しておくこと
	各コマにおける授業予定	症状に合わせた具体的支援方法について		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標 LD当事者の講演内容から、障害の全体像への理解を深める	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読む しておくこと
	各コマにおける授業予定	2人の当事者による講演動画の視聴		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標 LDにおける計算障害(算数障害)について理解し説明できる	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読む しておくこと
	各コマにおける授業予定	数の概念の発達、背景理論、評価について		
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標 LDについてこれまでの授業を振り返り、総合的な知識を身につける	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	15回～20回の復習
	各コマにおける授業予定	LDについての振り返り、小テスト実施		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標 ADHDの定義について理解し説明できる	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読む しておくこと
	各コマにおける授業予定	DSM-5の診断基準、主な症状、神経心理学的背景について		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標 ADHDの評価、支援について理解し説明できる	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読む しておくこと
	各コマにおける授業予定	ADHDの行動評価、注意機能評価 薬物療法、心理社会的支援などの支援アプローチ		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標 ADHD事例をとおして障害理解を深める	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読む しておくこと
	各コマにおける授業予定	症例を提示し障害特徴や支援アプローチを考える		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標 ADHDについてこれまでの授業を振り返り、総合的な知識を身につける	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	22回～24回の復習
	各コマにおける授業予定	ADHDの振り返り、小テスト		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	SLIの定義、原因を理解し説明できる	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読む しておくこと
		各コマにおける授業予定	DSM-Vの診断基準、原因、併発しやすい他の障害など 言語獲得初期～獲得後の特徴について		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	SLIのコミュニケーション特徴を理解し説明できる	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読む しておくこと
		各コマにおける授業予定	言語、コミュニケーション障害の特徴		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	SLIの評価を理解し説明できる	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	該当するテキストを読む しておくこと
		各コマにおける授業予定	音韻メモリについて ナラティブの評価方法		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	SLIの支援を理解し説明できる	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	26回～29回の復習
		各コマにおける授業予定	SLIの支援、課題、展望について		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの授業を振り返り、総合的な知識を身につける	PC,プロジェクター、配布資料、テキスト	過去の小テスト、講義資料の復習
		各コマにおける授業予定	SLIについて振り返り、小テストの実施 5つの障害について振り返り		
第31回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第32回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第33回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第34回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第35回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			